

第 43 回全国少年少女躰道優勝大会

大会実施要項

本要項に基づき大会を実施致しますので、記載内容を踏まえて稽古、審査等をご計画頂き、各種目にエントリーして下さい。なお、「出場申込書」等の提出締め切りを厳守の上、積極的に参加されますようお願い申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染防止対策により、従来の大会様式から変更があります。詳細については「新型コロナウイルス感染拡大防止等による基本方針」をご確認ください。

大会会長 工藤 善己

大会実行委員長 工藤 司

(1) 大会運営・進行概要

1. 主催と後援 主催：NPO法人日本躰道協会
後援：スポーツ庁（予定） 山形県スポーツ協会 公認：一般社団法人日本武藝躰道本院
2. 開催日時：令和4年7月31日（日）
3. 大会会場：朝陽武道館 6コート開催（※出場選手数により変更の可能性あり）
大武道場で6コート設置可能
〒997-0825
山形県鶴岡市小真木原町2-1 TEL0235-29-1346
[電車]羽越本線「鶴岡駅」から車で約12分
[車]日本海東北自動車道 鶴岡西ICから車で約10分
4. 集合場所・時間 入館時間

	集合時間	入館時間	集合場所
審判・大会役員	午前 8:00	午前 8:10	1F 正面入口前
出場選手	午前 8:05	午前 8:15	
観客	午前 8:05	午前 8:30	1F 正面入口前

※大会役員、選手共に入館30分前の集合となります。点呼、注意事項伝達等は、会場外にて行います。集合後、開場したら係員の指示に従い、順次入館してください。

入館後は更衣室や観覧席にて速やかに躰道着に着替え、午前8:50までに競技コートに集合して下さい。選手全員で準備体操を行った後、諸注意事項の伝達を行います。

※会場の正規開場時間は8:30となりますので、観客の皆様は入館時間までお待ちください。

※コロナ対策として、選手入館を一斉には行わず、各県地区ごとに時間差を設けて入館して頂きます。係員の指示に従って、順次入館してください。

また、観客についても時間差を設けての入館となりますので、係員の指示に従ってください。観客席については、各県地区ごとに座るエリアを決め、間隔を空けていただきます。着席エリアは実行委員会による抽選にて決定し、別途ご案内致します。

5. 選手変更受付 個人種目出場選手の変更は一切できません。

団体種目出場選手の変更は、「選手変更届」を締め切り日（7/30）までに提出されれば変更は認められます。新たに出場する選手は、出場費の送金手続きを併せて済ませて下さい。

※大会当日の、棄権・ドクターストップ以外の選手変更は認められません。

補欠制度を利用しない場合、団体法形・展開競技は失格となり出場不可、団体実戦は該当選手を不戦敗扱いにして競技参加が可能となります。

6. 競技開始 : 午前9時30分(予定) 開会式終了後、「競技スケジュール」の一番初めに開始する種目に出場する選手は指定された競技コートへ集合し、選手係の点呼を受けるとともに指示に従って下さい。

その後の競技に出場する選手は、それぞれの競技の開始予定時刻の 10分前までに集合して下さい。但し、館内放送があった場合には、その指示に従って下さい。

複数種目出場選手で、競技時間が団体種目と個人種目で重複した場合、原則として団体種目よりも個人種目を優先させ、団体種目で重複した場合には1番目に実戦・2番目に法形・

3番目に展開の順で出場してください。但し、競技コート役員から別途指示があった場合は、上記の優先順位に係わらず、その指示に従ってください。また、競技種目が重複し他のコートへ移る場合は、優先させない種目の競技コートの選手係にその旨を報告し、了解を得て下さい。

7. 開会式 : 午前9時00分～午前9時15分(予定)

点呼終了後、役員の手指示に従って前年度の総合優勝を先頭に北海道地区から順次整列してください。前年度総合優勝の代表者は、総合優勝旗・総合優勝杯を返還した後速やかに所属地区の列に並んで下さい。

8. 閉会式

全競技終了後、役員の手指示に従って開会式と同様に整列して下さい。

9. 表彰式 :

(1) 総合成績・・・・・・・・・・総合優勝には、総合優勝旗・賞状を贈呈します。総合第2位、第3位には、賞状を贈呈します。

(2) 団体種目・・・・・・・・・・優勝チーム・第2位のチーム・第3位のチームいずれにも賞状を贈呈します。選手にはメダルを贈呈します。

(3) 個人種目・・・・・・・・・・優勝選手・第2位の選手・第3位の選手のいずれにも賞状・メダルを贈呈します。

(4) 最優秀選手・優秀選手・・賞状・盾を贈呈します。

10. 会場の撤去

閉会式終了後、役員など限られた人員で会場の撤去とモップ掛けを行いますので、会場近郊の各県地区は全員協力するようお願い致します。大会進行役員は、それぞれが使用した備品をチェックし収納ケースに保管すると共にその他の備品類の梱包・搬出作業を行って下さい。

11・大会当日の live 配信は行わず、後日アーカイブ配信を1カ月限定公開とします。

(2) 競技について

1. 競技種目と出場枠

※資格から外れている選手の出場は一切認めませんので、間違いのないよう確認をお願い致します。

但し、級移行による中階無級・上階無級については、法形競技の出場資格を有するものとします。

出場種目	出場枠	出場資格	注意事項
男子個人実戦競技 (中学)	2名	上階 4級以上	面ピット・プロテクター着用厳守 試合時間 1分30秒 (予選・決勝全て)
男子個人実戦競技 (小学高学年)	2名	中階 4級以上	面ピット・プロテクター着用厳守 試合時間 1分 (予選・決勝全て)
女子個人実戦競技 (中学)	2名	上階 4級以上	面ピット・プロテクター着用厳守 試合時間 1分30秒 (予選・決勝全て)
女子個人実戦競技 (小学高学年)	2名	中階 4級以上	面ピット・プロテクター着用厳守 試合時間 1分 (予選・決勝全て)
男子個人法形競技 (中学)	2名	上階 5級以上	1.2回戦 旋体・運体・変体から選択 3回戦以降 体の法形から自由選択
男子個人法形競技 (小学高学年)	2名	中階 5級以上	1.2回戦 旋体・運体から選択 3回戦以降 旋体・運体・変体から選択
男子個人法形競技 (小学低学年)	2名	初階 5級以上	1.2回戦 旋体 3回戦以降 旋体・運体から選択
女子個人法形競技 (中学)	2名	上階 5級以上	1.2回戦 旋陰・運陰・変陰から選択 3回戦以降 陰の法形から自由選択
女子個人法形競技 (小学高学年)	2名	中階 5級以上	1.2回戦 旋陰・運陰から選択 3回戦以降 旋陰・運陰・変陰から選択
女子個人法形競技 (小学低学年)	2名	初階 5級以上	1.2回戦 旋陰 3回戦以降 旋陰・運陰から選択
男子団体実戦競技	2チーム	中階 4級以上	1チーム 5名、男子のみ ※4,5 (中学生 2名・小学高学年 3名) 試合時間 小学生 1分、中学生 1分30秒 (予選・決勝全て)
団体法形競技	2チーム	初階 5級以上	1チーム 5名、男女混合可 ※6,7 体・陰から自由選択
展開競技	2チーム	初階 5級以上	1チーム 6名 男女混合可 ※6 背番号着用

※1. 小学の部は「高学年」小学4～6年生、「低学年」は小学1～3年生と区別します

※2. 原則、出場選手の段・級位は、申し込み日現在のものとします。

ただし、コロナ対策として、今大会に限り、大会日までに昇級見込みでの申し込みも可とします。

※3. 実戦競技の競技時間は、決勝・三位決定戦ともに、小学生1分、中学生1分30秒です。

予選での延長戦は行いません。

※4. 団体実戦競技における小・中学の部の特別ルールについて

① 競技監督の指示に従い、中学生は中学生と、小学生は小学生と対戦する方式で行います。
(順番は自由)

② 競技監督は、試合の際、番号と一緒に「小学生」「中学生」の札を審判員・対戦相手に見えるよう提示してください。

③ 競技監督は、原則として初段以上の日本躰道協会会員（18歳以上）とする（出場費不要）
初段未満の場合はエントリー時に申込書の備考欄に記載し、実行委員会から許可を得る必要があります。

※5. 団体実戦競技においては、原則として1チーム5名ですが、3人以上でエントリー可とします。

※6. 展開競技・団体法形競技の決勝戦進出チームは、予選の上位4チームとなります。

(予選のブロック分けはいたしません)

※7. 団体法形競技における法形の選択について、体の法形を選択する場合は3名以上の男子選手、陰の法形を選択する場合は3名以上の女子選手でチームを構成して下さい。なお、補欠選手により選手構成が変化する場合も、これを守って下さい。

※8. 全ての競技において、選手はマスク着用とします。

2. 出場資格と制限

(1) 出場資格

日本躰道協会に登録されている会員であること。また令和4年6月分（第1期）までの協会費が登録時より継続的に支払われていること。

(2) 出場制限

1人2種目（展開競技に出場する場合は3種目も可。）

「(3) 推薦出場枠」に該当する選手にも、この出場制限が適用されるので注意して下さい。

(3) 推薦出場枠

前年度の本大会同種目で個人種目ベスト3に入賞した選手は、出場枠以外に「理事長推薦」で出場できます。必ず申し込み時に「理事長推薦書」を添えてお申し込みください。

(4) 補欠制度

全ての団体種目に関して、大会途中怪我などによる棄権者もしくはドクターストップが出た場合、申し込み時にエントリーされていることを条件に補欠者を出すことができる制度です。

補欠人員は、団体法形1名、展開競技1－6名、団体実戦2名（中学生1名、小学生1名）補欠も1種目とするため、補欠種目も含め2種目（展開競技に出場する場合は3種目も可）が上限となります。

＜補欠制度適用条件＞

- ・ 競技中の怪我によりドクターストップが下され、申し込み時よりエントリーされた補欠者がいる場合のみ、次の試合より選手交代が可能。
- ・ 変更の際は、各コート責任者に必ず報告し、本部で承認されてからの変更となる。
- ・ 一度補欠を適用した後は、元の選手が回復したとしても戻すことはできません。
- ※ ドクターストップが下された場合はいかなる理由でもその後の試合には出場できません。
ドクターの判断を無視した場合は、全ての競技の得点が無効となりますので注意して下さい。

(5) 棄権・ドクターストップ・補欠制度等について 全競技種目における、棄権・ドクターストップ・補欠制度等については、日本躰道協会審判局から2014年9月5日付で発行された同内容の通知書（本要項にも添付）に従うものとします。但し、同通知書と本要項の記載内容に差異がある場合は、本要項の内容を優先するものとします。

(6) 注意事項

全ての競技種目において、出場資格と制限から逸脱して競技に出場していることが発覚した場合、故意または過失に係わらず、当該選手の所属する団体が出場する全ての競技の得点が無効となりますので、注意してください。

3. 選手の遵守事項

(1) 出場選手は「躰道五条訓」を練習しておいてください。

(2) 大会当日には、「健康保険証」を必ず持参してください。持参せずに写しで治療を受ける場合、一部の病院では医療費の全額支払いを求められる場合があります。なお、大会に出場した選手は、実行委員会の手配にて保険にご加入頂きますので、大会中の怪我による治療に対して保険申請を行いたい場合は、実行委員会までご連絡下さい。

(3) 出場選手は日本躰道協会公認の躰道着を着用してください。躰道着の左右の上腕部に個人名を入れることや、一般的な常識範囲内のマークを取り付けることは認められています。

(4) 出場選手は、躰道着の背面部に所属する都道府県地区名のゼッケンを必ずつけてください。
ゼッケンの無い選手の出場は認めませんので注意してください。なお、ゼッケンの大きさは、縦7cm×横20cmとし、白い布地に黒字（漢字）とします。
展開競技の背番号がある場合は、その上の位置につけて下さい。

(5) 団体展開競技に出場する選手は躰道着の背面部に背番号のゼッケン（主役＝主・旋技＝1・運技＝2・変技＝3・捻技＝4・転技＝5）を、必ず取り付けてください。なお、背番号ゼッケンの大きさは、約20cm四方とし、白い布地に黒字とします。
主役は頭にハチマキを巻いて下さい。
ハチマキの色・デザインは自由、幅5cm程度、長さは結んで肩に付かない程度にして下さい。

(6) 実戦競技に出場する選手は、日本躰道協会公認の面ピットと指定されたプロテクターを必ず着用してください。なお、プロテクターは1階競技会場に入場する前に着用し、会場での取り付けは一切しないようにお願いします。

※面プロテクターについて、怪我等の理由によりドクターからの特別な指示がある場合は事前にご連絡ください。実行委員会及び日本躰道協会審判局で検討させていただきます。

※コロナ対策の観点から面ピット、プロテクターは個人持ちとし、共有は控えて下さい。

(7) 選手係が点呼を取る時点で集合していない選手・チームは棄権とみなされますのでご注意ください。

(8) 出場選手は、自身の段級位に合致した帯を着用してください。

以上の規定に違反すると失格となりますので、注意してください。

更に、以下の場合も出場できないので注意してください。

- ・躰道着の背面部に、所属名又は背番号のゼッケン以外の物を取り付ける。
- ・団体展開競技の番号に団体名を入れる。
- ・左胸部の「躰道」のマークを他のものに替える。
- ・袖口や袴を、短く切ったり捲ったりする(中段構えの際に、肘が出たりふくらはぎが出ているものは違反と見なします)。

4. 競技の判定

本院公認審判（研修生も含む）に審判を依頼し、「審判規定」に則って各競技の判定を行います。各競技の結果に従って、「総合成績※1」「最優秀選手・優秀選手※2」を決定します。

※1「総合成績」

総合成績は、各種目の入賞得点を下表の通りとし、各都道府県地区で合計得点の高い順に表彰します。

順位別得点表

	優勝	2位	3位	4位
個人種目	10	6	3	1
団体種目	10	6	3	1

同位の場合には、優勝→2位→3位→4位の順で多い方を上位とし、それでも同位の場合は、団体競技種目での入賞が多い方を上位とします。

※2「最優秀選手・優秀選手」 最優秀選手は1名、優秀選手は2名を上限として、大会会長・審判長の協議によって選出決定します。なお、試合の状況により、該当選手がいない場合もあります。

(3) 関係書類の提出と大会出場費の納付

1. 提出すべき関係書類と作成者

No,	書類名称又は連絡内容	作成者	備考
(1)	大会申込書・昼食弁当注文	代表者	データ (Excel) 提出※郵送 FAX 可
(2)	理事長推薦書	理事長	データ (Word) 提出 ※郵送 FAX 可
(3)	一言アピール申込書	代表者	メール もしくは 郵送で提出
(4)	各都道府県地区の写真	代表者	データ (JPEG) もしくは写真で提出
(5)	選手変更届	代表者	データ (Word) 提出※郵送 FAX 可

2. 提出期限

- ・ (1) (2) (3) (4) については、**令和4年6月26日(日)**までに提出して下さい。
* 提出期限が過ぎた場合は、出場を一切認めませんのでご注意ください。
- ・ (3) (4) 今大会はパンフレット冊子の作成は行わず、大会ホームページ上での紹介となります。
 (3) 一言アピールは、20字以内
 (4) 各都道府県地区写真は、ホームページに掲載してよいものをご提出ください。
- ・ (5) については、**令和4年7月30日(土) 16時**までに提出して下さい

3. 提出先

- ・ (1) (2) (3) (4) (5) については、下記でまでお送り下さい。

NPO法人日本躰道協会

MAIL : office@taido.gr.jp

〒164-0011

東京都中野区中央5丁目38-13 エスエス10 A702号室

TEL : (03) 5342-2322 / FAX : (03) 5342-2321

提出書類・必要連絡内容 一覧

- (1) 大会出場選手申込書 <郵送・FAX・Excel データ提出> 提出期限：6月26日必着 厳守
- ・出場資格と現在級を必ずご確認いただき、所定の事項を入力して、Excel データをメールもしくは郵送・FAXにて提出してください。
 - ・会員番号を必ず記載して下さい。
 - ・個人戦の場合、昨年度3位までの選手には推と記載して下さい
 - ・同種目2名以上出場の場合は、実力順に1・2と記載して下さい。
 - ・補欠の申込は、補と記載して下さい。
 - ・団体実戦の申込みは、競技監督も記載して下さい（出場費は発生しません）
 - ・補欠のみのエントリーについても、選手と同様に同額の出場費が発生します。
※申込み〆切時点で、出場資格を満たしていない者の出場は一切認めません。
 - ・大会出場選手申込書には、昼食弁当注文数量入力欄があります。
大会当日の昼食弁当（お茶付き）を希望する団体は必要数量を入力の上、提出して下さい。なお、昼食代金（1食800円×必要数量）は大会出場費の納付指定口座へ出場費と合わせて振り込んで下さい。
- (2) 理事長推薦書 <郵送・FAX・PDF 提出> 提出期限：6月26日必着 厳守
- ・理事長が本要の内容とそれに沿い、前年度に本大会同種目で、個人種目ベスト3に入賞していることを確認の上、理事長推薦枠として出場をお申込み下さい。
 - ・署名・捺印をし、郵送もしくはFAXにて送付するか、PDFにてメールでお送りください。
 - ・各都道府県地区で、まとめて提出して下さい。
- (3) 一言アピール申込書 <郵送・FAX・Word データ提出> 提出期限：6月26日必着 厳守
- ・プログラムに各都道府県地区の紹介文を記載しますので、メールにてご連絡下さい。
 - ① 都道府県地区 剣道協会
 - ② アピール文（20字以内）
 - ③ 団体責任者名・連絡先
- (4) 各都道府県地区の写真 <データ・郵送提出> 提出期限：6月26日必着 厳守
- ・プログラムに掲載致しますので、データ（JPEGデータ）で提出して下さい。
 - ・写真は集合・整列したもととし、可能であれば、剣道着着用で先生方と一緒に写っているものにして下さい。
- (5) 選手変更届 <郵送・FAX・データ提出> 提出期限：7月30日16時必着 厳守
- ・申し込み時にエントリーしている団体戦の選手のみ、選手変更が認められます。
「選手変更届」を提出して下さい。

4. 大会出場費の納付

出場費	6,000円（傷害保険料を含む）
-----	------------------

※前年度、個人種目ベスト3の選手がその種目のみに出場する場合は2,000円です
※補欠のみのエントリーも6,000円になります。

大会出場費は、令和4年6月26日(日)までに下記口座へ振り込みで納付して下さい。

①郵便振替の場合

00120-0-40646 名義 特定非営利活動法人 日本躰道協会

②銀行振込の場合

ゆうちょ銀行 〇一九店(セロイキョウ店) 当座 0040646 名義 特定非営利
活動法人 日本躰道協会

※棄権による返金は一切ありません。

※<選手変更制度> 稽古時の怪我などの理由で団体戦の選手変更が必要な場合、別紙「団体出場選手変更届」を令和4年7月30日(土)16時までに日躰協事務局または**実行委員長**までお送り下さい。(必着) 申込済選手との出場費相殺は認めますが、申込済みの選手が他種目にもエントリーしている場合は、変更選手が他種目にエントリーしていない場合は出場費が掛かります。

(4) その他

1. 個人情報の取り扱い

NPO法人日本躰道協会は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を順守し、以下の(1)～(3)の目的においてのみ、今大会へ出場を申し込む選手の個人情報を取り扱います。なお、大会への出場を申し込まれた時点で、当該事項に了承いただいたものと致します。

- (1) 取得した個人情報を資格審査、大会情報の編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他大会運営及び運営に必要な情報連絡に利用します。また主催・後援媒体等による報道目的の取材、協賛・協力・関係団体によるサービスの提供等に利用することがあります。
- (2) 本大会の映像・写真・記事・個人記録等は、NPO法人日本躰道協会が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがあります。
- (3) 競技者は、本大会に関する著作権、肖像権その他一切の知的財産を、大会参加の時点でNPO法人日本躰道協会に無償にて譲渡するものとします。競技者はNPO法人日本躰道協会または第三者による知的財産の利用につき、著作権人格権を行使しないものとします。従って、NPO法人日本躰道協会は競技者に事前に通知することなく、また、改めて承諾を得ることなく、NPO法人日本躰道協会の判断により無償かつ自由に、NPO法人日本躰道協会または第三者をして、本大会に関する著作権物を自由に配信、複製、加工、削除、編集、頒布、二次著作物の作成その他の方法で利用することができるものとします。

2. 大会保険について

今大会に出場する選手は、実行委員会で保険に加入します。大会中に怪我をされた選手は、実行委員会までお申し出下さい。保険内容に関しては別途詳細をお送りいたしますので、各団体の責任者・選手の方は申し込むまでに必ず確認して下さいますようお願い致します。

実行委員会から治療費実費をお支払いする事はできませんので、ご理解頂いた上でお申し込みされますようお願い申し上げます。

3. 宿泊の手配

各都道府県地区で予約の手配を行って下さい。

4. ゴミ回収について

協会に注文された弁当の容器は、指定場所へ収集していただければ弁当業者が回収致します。
それ以外の持ち込みゴミは全て各団体でお持ち帰りください。